

## 令和3年度入学式校長式辞（R3. 4. 8）

ただいま、入学を許可いたしました319名の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員、そして在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

未だ収束が見えない感染症対策の中での、入学式となりました。しかしながら本日は、ご来賓としてPTA会長笠松章史様、そして、保護者の皆さんを会場にお迎えし、新たな門出をお祝いできることは、何よりの喜びであります。

さて、本校は県下有数の伝統校であります。この学び舎を巣立った卒業生は、すでに3万7千名を超え、多くの先輩たちが政治・経済・文化・教育など、幅広い分野で活躍されています。皆さんは、こうした伝統と、誇り高い本校の生徒として、その第一歩を踏み出すこととなります。

しかしながら、皆さんは、本校に入学することで、その夢が成就されたわけではなく、大学などの上級学校へ進学すること、さらにその先にも大きな夢や目標を持っていることと思います。その目標や夢を叶えるべく、まずは学生の本分である日々の学習に全力で取り組んでいただきたいと思っております。

皆さんは、アクティブラーニングという言葉をご存知だと思います。直訳すると「積極期に学習する」こと。知識を深めるために主体的に学び、人との対話を通して自分の考えを広げ、最終的には自ら課題を発見し、解決する力を身に付けることを言います。毎日の授業や、教師から出させる課題に取り組むことは勿論大切ですが、日々の生活の中の様々な「なぜ」に注目し、仲間とともに疑問を解決することも重要となってきます。これから始まる3年間は、中学校以上に自由度が高い時間となります。この3年間をどう過ごすかは、皆さん一人一人の心の構え次第です。何事にも攻めの姿勢を貫いて欲しいと思っております。

ここで、この3月に本校を卒業した生徒たちが、皆さんに向けたメッセージを残していってくれました。そのいくつかを紹介したいと思います。これから皆さんが高校生活を送るに当たって、是非参考にしたいと思っております。

まず、1人の目の生徒の言葉です。

何事も経験になるので、気になったらとりあえず挑戦してみるといいと思います。熊女の生徒はみんな優しいので、失敗を恐れずにどんどん様々なことをやってみてください。本当にあっという間に高校生活は終わってしまいます。次があるからと思うのではなく、最初から本気で行うのが本当に大切なことだと、コロナで様々な行事がなくなって改めて思いました。私自身、部活や勉強で後悔したことはあります。その時は全力でやっているつもりですが、振り返ってみるともっと上を目指したのではないかと後悔してしまいます。後悔するのは仕方ないと思いますが、後で振り返ったとき、できるだけ後悔が少なくなるように、一日一日を大切に生きてほしいです。コロナで色々変わって大変になると思いますが、芯を強く持って、三年間思う存分楽しく過ごしてください。熊女生活は本当に楽しいです。

もう一人紹介します。

熊女は本当に居心地が良くて、卒業しても自分にとって大好きな場所、思い出の詰まった大切な場所になる、そんな素敵な高校生活を送れる学校です。勉強も勿論大事ですが、それ以上にコミュニケーション能力だったり、自分で自分の道を決めてやり遂げる力というのが付けられるのは、この高校の校風から生まれるものだと思います、私はそこが大好きです。校歌の最後のフレーズにある「かざさん花の冠を」という言葉どおり、夢や目標に向かって頑張ってください。応援しています。

2人のメッセージを紹介しました。明日からの生活に勇気や希望が持てたのではないのでしょうか。

ここで、保護者の皆様に、申し上げます。本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日、大切なお子様を確かにお預かりいたしました。お子様がこれからの三年間で、学力のみならず、人格面、体力面でもしっかり成長できるよう、教職員一同、全力で指導に当たってまいります。保護者の皆様には、本校の教育方針や指導については是非ともご理解をいただき、お子様のために、今何をすることが最良なのかを、共に考えて参りたいと思っております。

それでは、新入生の皆さんが決意を新たに、充実した高校生活を送られることを心から願い、私の式辞といたします。